第11回（2023年）「日本生態学会奨励賞（鈴木賞）」

受賞候補者応募用紙

　日本生態学会奨励賞選考委員会委員長　殿

下記のごとく，日本生態学会奨励賞に応募いたします．

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2022年　　月　　日

応募者氏名：

連絡先（e-mailアドレスもしくは電話番号）

　　：

　　　　　　　　　　　　　　　　　　記

　１．受賞候補者

　　　　氏　名：　　　　　　　　　　　　　生年月日：

　　　　所　属：

　　　　連絡先：

＊本情報は、受賞者の多様性向上に向けた分析材料とすることがあります。その場合、個人が特定されることはありません。

　２．「応募理由および研究の特色・独創性および今後の研究発展の可能性」を説明する文書（何を自分のオリジナリティとして創りだしたかを必ず記述してください）

＊なるべく具体的に研究内容に基づく応募理由を記載すること。

＊合わせてA4用紙１枚以内別紙添付すること。

　３．履歴書（高校卒業以降。学部、大学院、ポスドク期間の指導者・共同研究者・上司等を明記すること）　＊A4別紙添付すること。

　４．業績目録（査読付き英文論文、査読付き日本語論文、著書、国際発表、主な国内発表、その他特筆事項に分けて記述すること）＊A4別紙添付すること。

※以下2点に留意してください。

1) 論文業績については、Correspondence authorを明示。

2) 候補者の発表論文リストにアクセスできる「Google Scholar」の個人プロフィール・ページURLを必ず記載（個人プロフィール・ページがない場合は応募の前に作成してください）。

　５．会員活動歴（学会入会年，学会での主な研究発表歴など）

＊A4別紙添付すること。

　６．出産、育児、介護等で研究を中断していた期間の有無

＊産前産後の休暇及び育児休業の取得や、介護休業の取得による中断など、研究を中断していた期間があれば、その説明を記述してください。

７．主要論文の別刷（３編以内添付願います；印刷中を含む）

* 自薦のみ受け付けます。
* 審査は主要論文の精読を中心に行います。「２．応募理由および研究の特色・独創性および今後の研究発展の可能性」「５．会員活動歴」は審査のための補助資料と理解してください。「６．出産、育児、介護等で研究を中断していた期間の有無」については、内容や期間を十分に考慮した上で審査を行います。また、他の学会や団体からの受賞歴は問いません。